

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点など |
|-------------|---|---|-------|---------------|-------|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 30.8% | 53.8% | 15.4% | <ul style="list-style-type: none"> 身体的障がいのある利用者の受入（バリアフリー化/椅子/机）や個室対応、保護者対応などを考慮すると、適切とは言えない。 一時的に定員数の利用が重なる時間帯があるため、なるべく調整して密室にならないよう工夫している。 できるだけ広く使いたいで家具の配置や整理整頓を心がけ、レイアウトの変更（靴箱を外に出す、机やデスクトップPCの配置の見直しなど）を行い、活動スペースを捻出している。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 69.2% | 30.8% | | <ul style="list-style-type: none"> 利用希望と個別対応が可能な時間が必ずしも合致しない場合もあり、可能な限り対応できるよう時間の調整を心掛けている。 曜日によって人数が多い曜日があり、対応のフォローに入れる職員がいる。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 16.7% | 58.3% | 25% | <ul style="list-style-type: none"> 以前より、配線等は配慮できている。引き続き、出入口付近等の環境整備と事故防止の声掛けを続けている。 入り口が階段に近く、今後車いすや歩行器を利用している児童の利用が検討されているなら、エレベーターからデイルーム内の動線の確保の必要がある。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 53.8% | 46.2% | | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に(週一回)ミーティング時に問題を検討しているが、スタッフの提起すべきかの判断に差異がある。 PDCAミーティングを通していろんな意見やアイデアを出し合える場がある 業務改善を進めるよう定例ミーティングに全スタッフが参画し、必要に応じて職員同士で支援について相談できる。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 76.9% | 23.1% | | <ul style="list-style-type: none"> 保護者の意向が見えてきたときはミーティングや会議に出して職員全体にシェアしている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 53.8% | 46.2% | | <ul style="list-style-type: none"> 会報およびホームページでの公開を継続する。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 30.8% | 61.5% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> 今年度中に実施予定。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 76.9% | 23.1% | | <ul style="list-style-type: none"> 外部研修に積極的に参加している。 今後研修の機会を設ける予定。アイデアがある時は提案している 性の多様性など研修の結果を週末ミーティングで共有しています。OJTの積み重ねで向上を図っている。 |

| | | | | | | |
|----------|--|---|-------|-------|--|---|
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 84.6% | 15.4% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 職員間のコミュニケーションや情報の共有に努めている |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 30.8% | 50.8% | 15.4% | <ul style="list-style-type: none"> ● 標準化されたアセスメントシートを用いている。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 23.1% | 61.5% | 15.4% | <ul style="list-style-type: none"> ● 方針が個別対応のため、すべてはチームではないが、プログラムの変更などは随時職員間で相談して決めることもできている。 ● 子どもの特性やニーズに合わせた活動プログラムになるよう、ミーティングなどの機会を活用してチームで立案している。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 76.9% | 23.1% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 周囲のプログラムにもアンテナを張り、常にいいものを探そうとそれぞれが努力をしている。 ● ステップアップを意識した活動プログラムを提供するよう努めている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 30.8% | 46.2% | 23.1% | <ul style="list-style-type: none"> ● 基本の流れに沿って提供しているため、平日や長期休暇での大きな変動はないが、卒業前だと総まとめできるような課題を設定して取り組んでいる。 ● 長期休暇の前には広報やメールにて時間変更やニーズについてご相談いただけるように促し、宿題などのようぼうがあれば対応している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 15.4% | 53.8% | 30.8% | <ul style="list-style-type: none"> ● 今般のデイサービスの重点化による療育内容により、個別活動に注力している。 ● 個別活動がメインであるため、ニーズに合わせて一部盛り込んでいる。主に自由時間の過ごし方で他者とのコミュニケーションを図る機会として提供している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 76.9% | 23.1% | | <ul style="list-style-type: none"> ● ホワイトボードに課題を記入し、主担当者に確認してもらっている。 ● コミュニケーションを取れやすい関係づくりを築いており、席の配置や、課題や自由時間の役割分担など、それぞれが全体を見て気付いた人が声をかけたり、都度話し合っ対応に入っている。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 38.5% | 53.8% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 職員の出勤退勤がバラバラなため全員で支援の振り返りが行えることは少ない。個人間での振り返りや情報共有は都度行っており、全体周知が必要なことに関しては共有メールを活用している。 ● 支援終了と退勤時間との兼ね合いのため、翌日支援開始前や土曜の支援終了後などに共有することが多い。 |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、記録の書き方はベース等共有している。全体把握や支援の振り返りには役立っている。 ● メール報告やケース記録システムを活用し、日々記録の徹底を図っている。 | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|-------|-------|-------|--|
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 保護者の要望を加味して見直しております。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 53.8% | 38.5% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 自立支援、創作活動、余暇の充実と個別に組み合わせさせて支援を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 84.6% | 15.4% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 児発管または支援スタッフが参画している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 7.7% | 76.9% | 15.4% | <ul style="list-style-type: none"> ● 送迎を行っていないなど、情報共有や連絡調整を必要とする児童が該当しないため機会は少ないが、相談支援専門員を通して担当者会議などで知ることがある。 ● 保護者からの情報共有が多い。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 76.9% | 23.1% | <ul style="list-style-type: none"> ● 現在そのケースがないため、必要に応じて環境や体制を整えたい。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 7.7% | 69.2% | 23.1% | <ul style="list-style-type: none"> ● ケースがないが、相談支援専門員がいたり、担当者会議が開かれたりすれば共有は可能である。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 30.8% | 61.5% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 現時点では該当する児童がいない。 ● そういった機会があれば、情報提供できる体制ではある。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 53.8% | 38.5% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 発達障害者支援センター主催の研修に積極的に参加している。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 7.7% | 15.4% | 76.9% | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の機会が少ないため、今後そういった機会があれば検討したい。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 69.2% | 23.1% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 中区の子ども部会に積極的に参加している。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 療育後の報告には力を入れており、保護者とのコミュニケーションも取れている |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 23.1% | 53.8% | 23.1% | <ul style="list-style-type: none"> ● 一部保護者から要望があれば、関わり方の提案をしている。専門機関が主催するペアレント・トレーニングの情報提供をしている。 ● 今後研修やイベント等で支援を行う予定 |
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 84.6% | 15.4% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 契約の際に丁寧な説明を行い、同意を得ている。 ● 支援の内容については、個別支援計画書で丁寧に説明しております。 |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 84.6% | 15.4% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 時間を確保して、寄り添いを行っている。 ● 定期モニタリング以外に適宜相談支援を行っている。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|-------|-------|-------|--|
| | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 7.7% | 38.5% | 53.8% | <ul style="list-style-type: none"> ● 以前、保護者会を希望する方が少なかったので実現できていない。機会や要望があれば検討する。 ● 保護者参加の研修を今年度中に企画している。 |
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 92.3% | 7.7% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 児発管、代表理事に迅速に報告し対応記録にて周知するなど適切な対応を行っている。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 92.3% | 7.7% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月、ホウカゴパソコンラボという会報誌を発行している。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 92.3% | 7.7% | | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの画面一つにも個人情報が出ないように配慮をしている ● 郵送物の発送ミスがないよう、チェック体制を整備している。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 92.3% | 7.7% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて専用絵カードやタブレットを用いて意思伝達を図っている。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 7.7% | 30.8% | 61.5% | <ul style="list-style-type: none"> ● 事業所の行事を催していないため、機会があれば図る。 ● 利用者のプライバシーもあるので、簡単には行うことは出来ない。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 23.1% | 69.2% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● マニュアルを見えるところに置いて自由に見てもらえるようにしている。 ● 各マニュアルは策定されているが、保護者への周知ができていない。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | 58.8% | 46.2% | <ul style="list-style-type: none"> ● そういった話題に、この場所でこの器具を使って降りるんだと説明することがある。 ● 年度内に実施予定である。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 75% | 25% | | <ul style="list-style-type: none"> ● 虐待防止委員会を設置、年度内に研修を実施予定である。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 38.5% | 53.8% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 身体拘束を行う可能性のある利用者がいないため、記載はしていないことが多いが、色々な可能性を踏まえて記載するようにする。 ● 身体拘束適正化についてのマニュアル策定、年度内に研修を実施予定である。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 7.7% | 53.8% | 38.5% | <ul style="list-style-type: none"> ● 食事提供をしていないため、そうした文言の記載ややり取りは実施していない。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 61.5% | 30.8% | 7.7% | <ul style="list-style-type: none"> ● 定例会議などで共有したのち閲覧可能な場所に保管している。 |